

## I 「自己発揮できる子どもの育成」の視点から見た各種行事

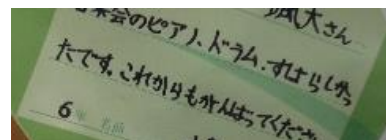
## ① 子どもとつくる行事(教え込み→ともに学ぶへ)

## ② 良さを認めあえる長小学校の行事(自分の居場所がある学級・学校)

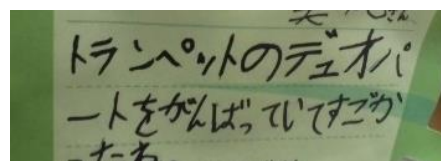
## ☆自己発揮できる子どもの姿から☆キラリ☆

<音楽会より自己発揮キラリ>

- ・休み時間に自主的にステージで練習していた4年生。その他の学年も。・給食室でたまたま出会った低学年と高学年が互いに子ども同士で認め合っていた姿。「よかったよ」「すごかったよ!」「迫力あった!」



- ・音楽会が終わったというのに、各教室から子どもたちの歌声が響いている姿。・他のクラスの歌をロズさんたり、学級で歌ったりしている姿。・なかよしの木にお互いの演奏の良さを褒めて認め合っている自己発揮。



<開校150周年記念日の参観日(人権教育に関わって)より自己発揮キラリ>

- ・グループで話し合う場面での「自己発揮している姿」。

保護者も参観している中で

の自己発揮タ

イム。おうちの方が来ている場面で

も、自分の思いを言いたくなる教室環

境でありたい。(その子の居場所が教室

にあるからこそその安心感)

・なかよしポップコーンバザーでおうちの方々に販売を促しPRしている自己発揮の姿。

- ・音楽会に参加してくれた地域の福田さんに対して、お礼の書を渡す自己発揮の姿



## <子どもの声が届いた記念給食！

感謝の思いと共に！自己発揮するといいいことが起こる！>

6年生が考えた希望献立を全校に向けて自己発揮し、その後投票を行い希望した献立の給食を食べることができた。

子どもたちの思い出に残り多くの子が喜んだ献立となりました。えりすぐりの地場産の食材を多数使用して子どもたちが考えた献立です。（太郎ポーク豚肉ハンバーガー。菅平産高原レタス、自分たちで育てたジャガイモでポテト、シャインマスカット150周年特別パフェ（真田の美味しいケーキ屋さんより））みんなが美味しく頂けるものとして地場産の材料がふんだんに使用され、子どもたちの思い出に残る記念給食となりました。自己発揮してプレゼンしてみんなで決めた記念給食は自己発揮の賜物です。



### ・2学期 なかよし月間・校長先生のお話「どうする？」での自己発揮（詳細は別紙参照）



グループ討議を取り入れた校長講話 自分の行動や言動のわけを言おう！

おおむね1・2番が多かったが、6年男子などに3、4番がいて意見も言えておもしろかった。題材から場面を想定して、イメージが湧き、どうするかわかった

とき、手が挙がる。わかりると素直に自己発揮する子どもたち。



### ・長小祭りにおける自己発揮キラリ！（縦割り班活動）



☆異学年のペアと相談しながらグループの中で和気あいあいと話している自己発揮！ ☆回る順番を考え手をつないでグループで回っている自己発揮 ☆6年生のアンパンマンの劇で自己発揮！それを見て大笑



している自己発揮！ ☆手作り景品を丁寧にたくさん作った自己発揮 ☆大地君が大はしゃぎをして飛び跳ねて喜んでいる自己発揮！



最後には全校の前で手を挙げて感想を言おうとした自己発揮 ☆図書館の本を探すアトラクションでは、6年生が本の場所がわかっている1年生に「どこかわかる？」「この辺にあるかもね」と聞いたりして1年生も楽しめるように促していた自己発揮。①<個人も楽しく> ②<全校が仲良く> ③<人が喜ぶ企画> ④<ボランティア活動>⑤<縦割り班活動>縦割り班のかかりから自己発揮を促し楽しさを引き出し福祉活動につなげた長小祭りをありがとう！

<出典「こころのこえをきいてみようおもしろい絵本 WILL こども知育研究所編・著/すみもとななみ絵/金の星社刊著作権利用承諾書取得済み>